

あおもり協立病院を退院された方へ

当院では医療・介護等の向上などを目的とした学術・教育・研究に際しては個人情報
を匿名化した上で診療情報を用いた研究を行っています。

【研究課題】

当院回復期リハビリテーション病棟における転倒・転落予防対策への取り組み
～傾向分析による現状把握と転倒リスク評価表作成～

【研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 あおもり協立病院リハビリテーション科

弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域

研究責任者：理学療法士

大学院生（博士後期課程） 森山暁

担当業務 データ収集、結果の考察、学位論文作成

【共同研究機関】

研究機関：弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域

共同研究者：准教授 吉田 英樹

担当業務：研究の遂行ならびにデータ解析、学位論文作成の指導

【研究期間】

倫理委員会承認～2024年12月31日

【対象となる方】

2021年4月～2022年3月の間に当院5階・8階回復期病棟を退院した患者さん。

【研究の意義】

当院にて転倒している患者さんは徐々に減少していますが、客観的な評価指標が少ないことが現状です。転倒予防に必要な評価を分析し、適切な対策の立案のために活用し、安全性をより確保していくために実施していきます。

【研究の目的】

本課題では、当院で転倒している患者さんの身体機能や日常生活動作能力の分析を行い、当院での転倒リスク表作成に活用することを目的とします。

【研究の方法】

この研究は、あおもり協立病院倫理委員会の承認を受け、あおもり協立病院院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている診療情報などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

収集データの内容：性別、年齢、診断名、転倒の有無、アクシデントレポート、HDS-R、病前の生活場所（自宅・自宅以外）、高次脳機能障害の有無（改訂長谷川式簡易知能評価）、介護保険の有無、認知症の有無、栄養状態(BMI)、FIMの各項目の点数及び運動項目合計点数（M-FIM）、認知項目の合計点数（C-FIM）、合計FIM点数（T-FIM）を収集する。FIMに関しては病棟内での行っている「しているADL」としての点数とリハビリ訓練時での「できるADL」それぞれの点数を収集します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの診療情報・データ等は、解析する前に氏名やID等の個人情報を消去し連番にて管理し、どなたのものか分からないようにした上で、施錠可能な保管庫ならびにインターネットに接続されていないパスワード設定済みのパソコンに保存します。なお、資料の保存の責任者は、本課題の研究責任者とします。

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：森山 暁

所在地：〒030-0847 青森県青森市東大野2丁目1番地10

実施機関名：青森保健生活協同組合 あおもり協立病院

電話番号：017-762-5500

e-mail：moriyama.pt@outlook.jp

作成日：2024年4月10日